

会議録要約

令和 8 年度男女共同参画推進審議会の第 1 回目を開催しました。

審議会の公開に基づき、傍聴が許可されていること、また、委員の過半数が出席しており、審議会が成立していることを確認しました。

議事の前に第 6 次たまの男女共同参画プラン策定に係る諮問式を行いました。

議事概要

凡例【 】：議事の項目

・ ：市からの説明

< >：委員からの意見・質問

→ ：市からの回答等

議事（１）男女共同参画行政の概要（令和 7 年度実績）について

- ・ 市の審議会等における女性委員の登用率は 32.4%で、30%前後で推移している。
- ・ 市職員の女性管理職比率は 11.8%で、昨年度と同じ状況である。
- ・ 市役所男性職員の育児休業取得率は、15 名中 13 名が取得し 86.7%であった。
- ・ DV 対応相談事業の延べ件数は増えているが、実人数はほぼ横ばいであり、1 人に対する複数回の相談が多くなっている。

<市職員の女性管理職比率が、昨年のプラン目標値の 12%から 11.8%に減少した理由と、目標値の根拠は何か。>

→ 毎年女性の管理職の状況が変わるため。当時高校の校長先生などが退職でいなくなった現状がある。目標値は 5 年前のプラン策定時に国や県の数値を参考に設定した。

<市職員の男性の育休取得率について、取得しなかった 2 人は希望していなかったのか。>

→ 希望していなかったと思われる。

<育休取得率の目標値が 30%だが、そろそろ 100%でもよいのではないか。>

→ 今後の審議会において、プラン策定の際に検討したい。

＜市民の意識調査について、年代別に分析し、効果的な取組を検討してはどうか。＞

→ 若い方は男女平等が一般的になっているが、年代が上がるにつれて数字が低くなっている。年代や性別ごとの分析を進め、施策に反映していきたいと考えている。

＜市民の意識について、令和 5 年から 6 年で上がり、令和 6 年から 7 年で横ばいになった理由は何か。＞

→ 解析ができていない状況である。年代・性別ごとの分析を進める。

議事（２）令和 8 年度玉野市男女共同参画に関するアンケート調査結果報告について

- ・ 「社会全体」において男性優遇と感じる割合は 66%で、前回から 8.3 ポイント減少し、緩やかな改善が見られる。
- ・ 日常の家事を主に妻が担っていると回答した割合は現状で 73.9%であり、理想と現実の間にギャップが存在する。
- ・ 女性管理職を登用している事業所は 47.8%と前回から 7.1 ポイント上昇した。
- ・ 女性管理職登用の妨げとなる要因として、64.3%の事業所が「希望する女性従業員が少ない」を挙げている。
- ・ 災害時の避難所運営で必要なこととして、生理用品や育児介護用品の把握体制の必要性について、男女で約 20 ポイントの差があった。

＜被害者の相談状況について、相談した結果、解決したかどうかの割合は調べているか。＞

→ 今回の意識調査には含めていない。

＜女性の管理職登用が進んでいない事業所の状況について、市職員の女性管理職の比率が低いが、市職員に対してもアンケートを行っているのか。＞

→ アンケートとは行っていないが、状況を把握することは重要であるため方法を検討する。

＜女性が管理職を望んでいないという現実もあり、事業所は管理職になりやすい土壌を作る必要がある。女性自体が望んでいないということも理解してほしい。＞

＜防災組織において、避難所に生理用品がないことに女性が気づいた経験がある。推進していく団体等において、女性の登用が非常に大切である。＞

議事（３）その他

第６次たまの男女共同参画プランの策定に向けた今後のスケジュールについて

- ・ 10月頃をめどに骨子案を示し、12月頃に素案として取りまとめる予定である。
- ・ 12月から翌１月にかけてパブリックコメントを実施し、３月に策定する予定である。

＜次回の開催はいつ頃か。＞

→ 10月、12月、2月を予定している。開催日が決まり次第案内する。

＜プランは５年ごとに更新するのか。期間が長いのではないか。＞

→ 国や県に合わせて、５年を計画期間としている。

その他・報告事項

- ・ 次年度の男女共同参画社会の実現の促進に関する事業者表彰の募集を10月１日～11月30日まで予定している。周囲の事業所への周知や対象の事業者があれば推薦もお願いしたい。
- ・ パートナースhip宣誓制度について、今年度６月に新たに１組の宣誓があり、制度導入から計２組が宣誓した。

閉会